

前回会議での主な意見等（一部要約）

【令和3年度第3回 四万十市まち・ひと・しごと創生会議（書面開催）】

1 総合戦略の進捗状況について

基本目標 1

- 経営指導などサポート体制の強化について、県事業承継・引継支援センターが質の高いサポートを展開してくれている。後継者問題に起因する廃業が増加すれば各種活性化策は有効に機能しない。同センターは特に小規模企業の支援について大きな効果があることから、引き続き、密に連携し対応していくことが重要である。

基本目標 2

- 移住定住の促進について、コロナ禍でのニーズに対応し、オンラインや対面とのハイブリッドなどご活用され積極的に都市部とのコミュニケーションを図られていること、大変素晴らしいと思います。移住者数は前年度からの影響を受けたものではないかとも思われますが、令和3年度は登録数も盛り返し、今後に期待が高まります。
- ふるさと納税について、令和3年度はウェブ広告やポータルサイト追加などの取り組みも行われているので、前年度と今年度の寄付額、新たな施策追加による効果などお教えいただければと思います。また、引き続き令和4年度も積極的に取り組まれてはかがかと思えます。

基本目標 3

- 一時預かり事業実施の検討について、令和4年度途中からの開始となっていると聞いたが、地域子育て支援センターの機能をより充実するために正職員を増やし、細かな対応をしていただきたい。
- 子育てしやすい環境整備に引き続き取り組んでいただきたいと思えます。
- 四万十市のホームページが良くなったと感じました。四万十市のママ達で「ぐるっとママ高知」という横浜市が本拠地のポータルサイトを令和4年3月14日にオープンしました。オンライン秘書やデータ入力等オンラインでできるママ向けのすき間仕事もゆくゆくは紹介できます。よかったらご覧ください。「高知で子育てしよう！」にも力を入れていきたいと皆で頑張っています。

基本目標 4

- 公共交通機関の利用者と同様にあったかふれあいセンターも減少しています。ご高齢の方々など外出機会そのものが減っている状態でしたら、ご高齢の方々などが無理のない範囲で外出いただける機会を創出することも重要ではないかと思われます。
- 幡多福祉保健所地域支援室では、今後も基本目標4：「地域にあった小さな拠点をつくり、まちとの連携により市民の暮らしを守る」に関連して、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の推進等に取り組めます。また、「安全・安心に暮らすことのできる災害に強いまちづくり」に関連しては、災害時要配慮者対策の推進に取り組めます。

2 総合戦略の進行管理（開催方法の見直し）について

- 進行管理について、（年1回開催への見直しは）適正な変更だと思われます。今の頻度でもそうですが、1年も空きますと前回の議論を忘れてしまいます。次回の委員会では、前回の委員会が出た意見や質問なども、ご提示いただけると助かります。

3 その他

人口減少について

- 定住人口の急激な増加は難しそうなので、今住んでいる人たちを有効に活用する必要がある。「多様な人材の活躍を推進する」という国の目標を鑑みても、年金世代の力を借りることが四万十市としては現実的と思われる。
- 人口推移を見ると5年度10年後には働き手の確保が難しくなり、市内の事業所は成り立たなくなるところが多数出てくると考えられます。今こそ大なたを振るい、長期的に方向性を見据えていかないと自分たちの子供が安心して暮らせる町になり得ないと強く感じています。

人材育成について

- 人材育成について、まちのために働く民間のプレーヤーが不足しており、発掘・育成が急務。今頑張っている青年会議所や商工会議所青年部、青年団などのメンバーを育成するプログラムなどを考えたり、官民の若手で構成する会議体（課題を絞ったもの）なども検討に値するのでは。